

# 令和4年度 佐世保市の環境問題に関する アンケート集計結果(概要版)

令和5年5月 佐世保市環境部環境政策課

## 1 アンケートの目的

環境行政を効果的に推進するにあたり、市民や事業者の問題意識や取組状況、環境行政へのニーズを把握し、今後の環境行政の展開に活用する。

また、佐世保市環境基本計画の成果指標となっている項目の達成度を当該アンケートにより把握するもの。

## 2 アンケートの対象

### (1) 市民

佐世保市内に居住する20歳以上の男女(令和5年1月1日現在)のうち、支所及び行政センター管轄別の人口割合に応じて無作為に抽出した3,000名(男性1,500名、女性1,500名)

### (2) 事業所

佐世保市内の事業所から無作為に抽出した250事業所

## 3 調査方法

郵送による配布・回収(督促なし)

## 4 調査期間

令和5年2月3日(金)～2月28日(火)

## 5 回収結果

(1) 市民 : 1,272 名(回収率:42.4%)

(2) 事業所 : 110 事業所(回収率:44%)

## 6 調査結果

### 関心が高い環境問題について

#### 《市民》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「地球温暖化」であった。  
前年度より「大気汚染(空気の汚れ)」の関心が高くなっている。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	地球温暖化	936	73.6%	△0.8	74.4%
2	ごみの減量、リサイクル	644	50.6%	△2.2	52.8%
3	ごみのポイ捨てと不法投棄	623	49.0%	△8.0	57.0%
4	大気汚染(空気の汚れ)	621	48.8%	1.2	47.6%
5	食品ロス	605	47.6%	△9.9	57.4%
6	再生可能エネルギー	527	41.4%	△0.6	42.1%
7	排水による、川や海の水の汚れ	505	39.7%	△1.4	41.1%
8	プラスチックごみ	480	37.7%	△4.6	42.3%
9	外来種の繁殖による生態系などへの影響	333	26.2%	△3.1	29.3%
10	身近な自然の減少	296	23.3%	△7.2	30.4%
11	野生生物や希少な動植物の減少	224	17.6%	△3.7	21.3%
12	騒音、振動	189	14.9%	△6.2	21.1%
13	土壌汚染	172	13.5%	△2.8	16.3%
14	悪臭	170	13.4%	△3.9	17.2%
15	その他	41	3.2%	△1.0	4.3%
16	無回答	16	1.3%	0.0	1.3%
合計		6,382			

※複数回答可 ※有効回答数(N):1,272名

#### 《事業所》

最も関心が高い項目は、前年度と同じく「ごみの減量、リサイクル」であった。  
前年度より「ごみの減量、リサイクル」、「騒音、振動」の関心が高くなっている。

(関心が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	ごみの減量、リサイクル	64	58.2%	7.3	50.9%
2	地球温暖化	63	57.3%	△2.5	59.8%
3	プラスチックごみ	45	40.9%	△1.1	42.0%
4	再生可能エネルギー	41	37.3%	△6.5	43.8%
5	大気汚染(空気の汚れ)	38	34.5%	△1.2	35.7%
6	排水による、川や海の水の汚れ	32	29.1%	△9.3	38.4%
6	騒音、振動	32	29.1%	11.2	17.9%
8	食品ロス	31	28.2%	△4.9	33.0%
9	ごみのポイ捨てと不法投棄	26	23.6%	△12.1	35.7%
10	土壌汚染	21	19.1%	1.2	17.9%
11	悪臭	15	13.6%	△1.5	15.2%
12	身近な自然の減少	13	11.8%	△6.9	18.8%
13	野生生物や希少な動植物の減少	8	7.3%	△3.4	10.7%
14	外来種の繁殖による生態系などへの影響	5	4.5%	△6.2	10.7%
15	その他	3	2.7%	2.7	0.0%
16	無回答	2	1.8%	△1.8	3.6%
合計		439			

※複数回答可 ※有効回答数(N):110事業所

## ゼロカーボンシティについて

《市民のみ》

■ 佐世保市のゼロカーボンシティ宣言について、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	213	16.7%
知らなかった	1,033	81.2%
無回答	26	2.0%
合計	1,272	

## 家庭からはじめる10の取組について

《市民のみ》

最も取り組まれている項目は、「買い物のおときはマイバックを使う」であった。

(数が多い順)

No.	項目	回答数	割合
1	買い物のおときはマイバックを使う	1,099	86.4%
2	ごみカレンダーをチェックして、分別・リサイクル	1,090	85.7%
3	照明はこまめに消灯。一つの部屋で家族団らん	988	77.7%
4	冷蔵庫は、整理して使い、食品ロスを減らす	781	61.4%
5	ガスの炎が、なべ底からはみださないよう調理する	668	52.5%
6	エアコン設定温度は、冷房28℃・暖房20℃が目安	631	49.6%
7	車の運転は、ふんわりアクセルなどでエコドライブ	604	47.5%
8	洗濯物は容量の8割を目安にまとめて洗う	590	46.4%
9	シャワーのお湯はこまめに止め、1分減を目標に	459	36.1%
10	テレビ番組は選んで、見る時間を減らす	451	35.5%
	合計	7,361	

※複数回答可 ※有効回答数(N):1,272名

## 住まいの周辺環境の満足度

### 《市民のみ》

「満足」又は「やや満足」と回答した人が最も多かった項目は、前年度と同様に「自然の景観の美しさ」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ( )内の数値は「満足」、「やや満足」と回答した人の割合の合計	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
1	自然の景観の美しさ (58.9%)	185 14.5%	565 44.4%	295 23.2%	125 9.8%	25 2.0%	77 6.1%	1,272 100%
2	ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (58.2%)	210 16.5%	531 41.7%	285 22.4%	137 10.8%	33 2.6%	76 6.0%	1,272 100%
3	まちの静けさ (騒音や振動など) (52.8%)	213 16.7%	459 36.1%	321 25.2%	154 12.1%	55 4.3%	70 5.5%	1,272 100%
4	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (49.5%)	105 8.3%	524 41.2%	417 32.8%	123 9.7%	31 2.4%	72 5.7%	1,272 100%
5	空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (43.5%)	127 10.0%	426 33.5%	411 32.3%	188 14.8%	48 3.8%	72 5.7%	1,272 100%
6	まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (43.0%)	81 6.4%	466 36.6%	286 22.5%	278 21.9%	90 7.1%	71 5.6%	1,272 100%
7	地産地消の推進 (41.0%)	72 5.7%	449 35.3%	501 39.4%	119 9.4%	26 2.0%	105 8.3%	1,272 100%
8	水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (36.5%)	74 5.8%	391 30.7%	438 34.4%	232 18.2%	62 4.9%	75 5.9%	1,272 100%
9	海、山、川、里山などの自然環境の保全 (35.9%)	66 5.2%	390 30.7%	511 40.2%	177 13.9%	47 3.7%	81 6.4%	1,272 100%
10	自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (33.5%)	90 7.1%	336 26.4%	550 43.2%	165 13.0%	33 2.6%	98 7.7%	1,272 100%
11	環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (30.0%)	73 5.7%	309 24.3%	613 48.2%	148 11.6%	47 3.7%	82 6.4%	1,272 100%
12	省エネルギーの取り組み (23.2%)	33 2.6%	262 20.6%	719 56.5%	128 10.1%	33 2.6%	97 7.6%	1,272 100%
13	自治会やNPO団体などの環境保全活動 (19.1%)	50 3.9%	193 15.2%	781 61.4%	114 9.0%	42 3.3%	92 7.2%	1,272 100%
14	公共交通機関の便利さ (18.8%)	66 5.2%	173 13.6%	551 43.3%	266 20.9%	129 10.1%	87 6.8%	1,272 100%
15	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (17.7%)	42 3.3%	183 14.4%	720 56.6%	179 14.1%	61 4.8%	87 6.8%	1,272 100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント (10.7%)	19 1.5%	117 9.2%	851 66.9%	148 11.6%	35 2.8%	102 8.0%	1,272 100%

## 住まいの周辺環境の重要度

### 《市民のみ》

「重要」又は「やや重要」と回答した人が最も多かった項目は、「まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱・ペットのふんなど)」であり、「環境に関する講座や観察会などのイベント」が最も低かった。

(「重要」、「やや重要」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ( )内の数値は「重要」、「やや重要」と回答した人の割合の合計	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり でない 重要	重要 でない	無 回 答	合 計
1	まちの清潔さ・きれいさ (ごみの散乱・ペットのふんなど) (84.2%)	741 58.3%	329 25.9%	53 4.2%	3 0.2%	1 0.1%	145 11.4%	1,272 100%
2	水のきれいさ (河川・水路・池沼・海など) (82.8%)	802 63.1%	251 19.7%	67 5.3%	2 0.2%	0 0.0%	150 11.8%	1,272 100%
3	海、山、川、里山などの自然環境の保全 (82.8%)	799 62.8%	254 20.0%	69 5.4%	1 0.1%	1 0.1%	148 11.6%	1,272 100%
4	空気のきれいさ (車の排気ガス、空気のかすみなど) (82.7%)	785 61.7%	267 21.0%	72 5.7%	6 0.5%	0 0.0%	142 11.2%	1,272 100%
5	ごみが決められたルールどおりに出されるように するための取り組み (82.0%)	756 59.4%	287 22.6%	85 6.7%	3 0.2%	1 0.1%	140 11.0%	1,272 100%
6	ごみを減らし、できるだけリサイクルする取り組み (80.9%)	746 58.6%	283 22.2%	96 7.5%	2 0.2%	3 0.2%	142 11.2%	1,272 100%
7	自然の景観の美しさ (80.7%)	673 52.9%	354 27.8%	91 7.2%	5 0.4%	1 0.1%	148 11.6%	1,272 100%
8	省エネルギーの取り組み (76.3%)	690 54.2%	280 22.0%	150 11.8%	6 0.5%	3 0.2%	143 11.2%	1,272 100%
9	地産地消の推進 (75.8%)	577 45.4%	387 30.4%	145 11.4%	6 0.5%	2 0.2%	155 12.2%	1,272 100%
10	まちの静けさ (騒音や振動) (75.3%)	512 40.3%	446 35.1%	149 11.7%	16 1.3%	1 0.1%	148 11.6%	1,272 100%
11	再生可能エネルギーの推進(太陽光、風力、水力 発電などの、枯渇しないエネルギー) (74.1%)	673 52.9%	269 21.1%	172 13.5%	10 0.8%	7 0.6%	141 11.1%	1,272 100%
12	自然とふれあう機会 (水辺、農地や土、生きものなど) (72.3%)	501 39.4%	418 32.9%	176 13.8%	10 0.8%	2 0.2%	165 13.0%	1,272 100%
13	公共交通機関の便利さ (64.8%)	425 33.4%	399 31.4%	267 21.0%	20 1.6%	7 0.6%	154 12.1%	1,272 100%
14	環境に関する市からの情報提供 (広報紙、テレビ、ホームページなど) (64.0%)	397 31.2%	417 32.8%	281 22.1%	17 1.3%	6 0.5%	154 12.1%	1,272 100%
15	自治会やNPO団体などの環境保全活動 (49.1%)	274 21.5%	350 27.5%	443 34.8%	26 2.0%	20 1.6%	159 12.5%	1,272 100%
16	環境に関する講座や観察会などのイベント (47.1%)	238 18.7%	361 28.4%	455 35.8%	33 2.6%	19 1.5%	166 13.1%	1,272 100%

## 環境に関する経営方針や管理手法の導入

### 《事業所のみ》

「既に実施している」又は「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が最も多かった項目は、「環境担当部門や担当者の配置」の17.3%であり、全体的に環境に関する経営方針や管理手法の導入への意識は高まっているが、積極的には進んでいない。

(「既に実施している」、「今後、実施したい」と回答した事業所の割合が高い順)

No.	質問事項 ( )内の数値は「既に実施している」、 「今後、実施したい」と 回答した人の割合の合計	既 に 実 施 し て い る	実 施 し た い 今 後 、	現 在 、 検 討 中 で あ る	実 施 の 予 定 は な い	ど の よ な も の か 知 ら な い	無 回 答	合 計
1	環境担当部門や担当者の配置 (17.3%[11.6%])	18 16.4%	1 0.9%	11 10.0%	65 59.1%	8 7.3%	7 6.4%	110 100%
2	ISO14001の認証取得 (16.4%[8.0%])	17 15.5%	1 0.9%	8 7.3%	55 50.0%	24 21.8%	5 4.5%	110 100%
3	環境に関する内部監査の実施 (15.4%[12.5%])	14 12.7%	3 2.7%	10 9.1%	66 60.0%	10 9.1%	7 6.4%	110 100%
3	自主的な環境管理計画(環境に配慮した原材料、物品、 サービスなどの購入ガイドライン)の策定 (15.4%[9.8%])	14 12.7%	3 2.7%	12 10.9%	58 52.7%	17 15.5%	6 5.5%	110 100%
5	環境報告書の作成 (14.5%[10.7%])	14 12.7%	2 1.8%	10 9.1%	68 61.8%	10 9.1%	6 5.5%	110 100%
6	その他の環境マネジメントシステムの導入 (7.3%[5.4%])	7 6.4%	1 0.9%	10 9.1%	60 54.5%	26 23.6%	6 5.5%	110 100%
7	エコアクション21の認証取得 (3.6%[2.7%])	3 2.7%	1 0.9%	12 10.9%	51 46.4%	36 32.7%	7 6.4%	110 100%
8	その他 (-)[-]	1 0.9%	0 -	0 -	0 -	0 -	109 99.1%	110 100%

# 日頃行っている環境保全の取り組み

## 《市民》

「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した人の割合が最も高かった項目は、前年度と同様に「ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている」であった。

(「いつも行っている」、「時々行っている」と回答した人の割合が高い順)

No.	質問事項 ( )内の数値は「いつも行っている」、 「時々行っている」と回答した人の割合の 合計、[ ]内は前年度の割合※	行 つ い て つ い も る	行 つ て い る 時 々	行 つ て い な い が 今 後 行 い たい	い 、 ま た は 行 っ て い ない	今 後 も 行 わ な い	該 当 し な い	無 回 答	合 計
1	ごみと資源物の分別をきちんと行いリサイクルに努めている (94.0%[94.0%])	1,044 82.1%	151 11.9%	25 2.0%	4 0.3%	-	-	48 3.8%	1,272 100%
2	油や食べ残しを排水口へ流さないようにしている (91.9%[91.4%])	975 76.7%	193 15.2%	43 3.4%	12 0.9%	-	-	49 3.9%	1,272 100%
3	買い物には、買い物かごや買い物袋を持っていき、レジ袋はもらわないようにしている (89.7%[90.5%])	933 73.3%	209 16.4%	44 3.5%	37 2.9%	-	-	49 3.9%	1,272 100%
4	車を使用する時は、不要なアイドリング、空ぶかしや急発進などをしないようにしてエコドライブを行っている (89.7%[89.4%])	769 69.8%	219 19.9%	34 3.1%	9 0.8%	170	-	71 6.4%	1,102 100%
5	食材は無駄なく使い、鍋底から炎がはみ出さないようにするなど、エコクッキングを行っている (86.6%[85.8%])	765 60.1%	337 26.5%	82 6.4%	24 1.9%	-	-	64 5.0%	1,272 100%
6	歯を磨くときは水道を止めたり、風呂の残り水を洗濯に使ったり、日常の生活で節水に努めている (83.9%[83.9%])	692 54.4%	375 29.5%	113 8.9%	44 3.5%	-	-	48 3.8%	1,272 100%
7	テレビや照明をつけっぱなしにしないようにしたり、使っていない電化製品はコンセントからプラグを抜いたり、省エネに心がけている (79.5%[73.7%])	520 40.9%	491 38.6%	156 12.3%	49 3.9%	-	-	56 4.4%	1,272 100%
8	食材は地元産の旬のものを購入するよう努めている (79.0%[73.7%])	419 32.9%	587 46.1%	156 12.3%	52 4.1%	-	-	58 4.6%	1,272 100%
9	シャワーはこまめに止めて利用するよう心がけている (78.2%[82.3%])	496 46.7%	335 31.5%	137 12.9%	37 3.5%	210	-	57 5.4%	1,062 100%
10	血洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている (78.0%[75.8%])	580 45.6%	412 32.4%	141 11.1%	84 6.6%	-	-	55 4.3%	1,272 100%
11	詰め替え商品や再使用、再生利用しやすい商品やエコマークのついた商品を優先して購入している (75.4%[75.9%])	534 42.0%	425 33.4%	209 16.4%	46 3.6%	-	-	58 4.6%	1,272 100%
12	生ごみ袋の水分を絞ったり、乾燥させて軽量化させたり、生ごみの減量に取り組んでいる (75.2%[72.1%])	554 43.6%	402 31.6%	208 16.4%	59 4.6%	-	-	49 3.9%	1,272 100%
13	物は大切に、修理したりして長く使うようにしている (67.9%[85.8%])	357 28.1%	506 39.8%	256 20.1%	92 7.2%	-	-	61 4.8%	1,272 100%
14	冷暖房を使うときの室温は、冷房28℃・暖房20℃を目安としている (65.5%[58.8%])	466 36.6%	368 28.9%	238 18.7%	139 10.9%	-	-	61 4.8%	1,272 100%
15	山や海などの自然にふれあう機会を持っている (54.6%[53.9%])	229 18.0%	466 36.6%	342 26.9%	169 13.3%	-	-	66 5.2%	1,272 100%
16	地域における環境保全活動に参加している (地域の清掃、資源集団回収など) (51.9%[50.8%])	311 24.4%	350 27.5%	290 22.8%	243 19.1%	-	-	78 6.1%	1,272 100%
17	なるべく公共交通機関や自転車などの利用や徒歩を心がけている (47.0%[42.1%])	282 22.2%	315 24.8%	320 25.2%	276 21.7%	-	-	79 6.2%	1,272 100%
18	環境家計簿をつけ、環境に優しい日常生活となっているかチェックしている (7.5%[25.5%])	33 2.6%	62 4.9%	445 35.0%	602 47.3%	-	-	130 10.2%	1,272 100%
19	環境保全に関するイベントや講座などに参加している (させぼエコプラザ・九十九島ビジターセンターなど) (7.2%[5.2%])	19 1.5%	73 5.7%	514 40.4%	579 45.5%	-	-	87 6.8%	1,272 100%

※「該当しない」を除いた割合で計算

## 日頃行っている環境保全の取り組み

### 《事業所》

「いつも行っている」又は「時々行っている」と回答した事業所の割合が最も多かった項目は、前年度と同様に「紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している」であった。

(「いつも行っている」、「時々行っている」と回答した事業所の割合が高い順)

No.	質問事項 ( )内の数値は「いつも行っている」、 「時々行っている」と回答した事業所の割合の 合計、[ ]内は前年度の割合※	行 つ い て つ も る	行 つ て 時 々 行 っ て い る	行 つ て い な い が 今 後 行 い たい	い、 今 後 も 行 わ な い、 ま た は 行 っ て い ない	該 当 し な い	無 回 答	合 計
1	紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している (90.9%[91.6%])	82	8	4	1	11	4	99
		82.8%	8.1%	4.0%	1.0%	-	4.0%	100%
2	コピー用紙の使用量を減らしている (両面コピーや裏紙の利用等) (86.4%[83.0%])	62	33	7	6	-	2	110
		56.4%	30.0%	6.4%	5.5%	-	1.8%	100%
3	ごみの分別に関する従業員への指導を実施している (81.9%[82.1%])	62	28	7	10	-	3	110
		56.4%	25.5%	6.4%	9.1%	-	2.7%	100%
4	昼休み等、不要な時は電気を消灯している (78.2%[77.7%])	64	22	15	7	-	2	110
		58.2%	20.0%	13.6%	6.4%	-	1.8%	100%
5	冷暖房の時間短縮や設定温度(目安:冷房28℃、暖房20℃)を徹底している (71.8%[70.5%])	37	42	16	12	-	3	110
		33.6%	38.2%	14.5%	10.9%	-	2.7%	100%
6	包装・梱包の削減、再利用をすすめている (69.1%[57.1%])	31	45	22	9	-	3	110
		28.2%	40.9%	20.0%	8.2%	-	2.7%	100%
7	コピー用紙には再生紙を使用している (67.3%[67.0%])	51	23	22	10	-	4	110
		46.4%	20.9%	20.0%	9.1%	-	3.6%	100%
8	古紙を使ったトイレトペーパーを使用している (59.1%[66.1%])	46	19	23	18	-	4	110
		41.8%	17.3%	20.9%	16.4%	-	3.6%	100%
9	不必要なアイドルングをやめるよう徹底している (57.2%[63.4%])	38	25	26	17	-	4	110
		34.5%	22.7%	23.6%	15.5%	-	3.6%	100%
10	グリーン購入を行っている (51.0%[42.9%])	17	39	38	13	-	3	110
		15.5%	35.5%	34.5%	11.8%	-	2.7%	100%
11	事業所内や周辺地域の緑化に努めたり、事業所周辺や、公園・道路の清掃など地域活動へ参加したりしている (47.3%[47.3%])	23	29	28	26	-	4	110
		20.9%	26.4%	25.5%	23.6%	-	3.6%	100%
11	エコカー(低公害車や低燃費車)を導入している (47.3%[44.6%])	36	16	32	21	-	5	110
		32.7%	14.5%	29.1%	19.1%	-	4.5%	100%
13	使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている (38.2%[25.0%])	13	29	28	37	-	3	110
		11.8%	26.4%	25.5%	33.6%	-	2.7%	100%
14	省エネのため製造工程や製造ラインを改善している (37.0%[37.2%])	9	8	17	8	64	4	46
		19.6%	17.4%	37.0%	17.4%	-	8.7%	100%
15	自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示している (29.1%[18.8%])	21	11	26	43	-	9	110
		19.1%	10.0%	23.6%	39.1%	-	8.2%	100%
16	省エネのための効率的な輸配送システムがある (22.0%[25.5%])	6	5	22	13	60	4	50
		12.0%	10.0%	44.0%	26.0%	-	8.0%	100%
17	環境保全に関する従業員研修を実施している (21.8%[17.9%])	13	11	41	40	-	5	110
		11.8%	10.0%	37.3%	36.4%	-	4.5%	100%
18	雨水や一時使用した水を再利用している (11.8%[16.1%])	7	6	15	77	-	5	110
		6.4%	5.5%	13.6%	70.0%	-	4.5%	100%
19	ノーマーカーデーを導入するなど、従業員のマイカー出勤を自粛させている (6.7%[9.1%])	4	2	17	62	21	4	89
		4.5%	2.2%	19.1%	69.7%	-	4.5%	100%

※「該当しない」を除いた割合で計算。



## 日常の取り組みで障害と感じていること

### 《市民》

障害と感じている人の割合が最も多かった項目は、前年度と同様に「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	474	37.3%	△ 1.8	39.0%
2	取り組んだ成果が実感できない	286	22.5%	△ 1.5	24.0%
3	取り組みを持続することが難しい	285	22.4%	△ 0.3	22.7%
3	特に障害を感じることはない	285	22.4%	5.4	17.0%
5	手間がかかる	279	21.9%	△ 3.7	25.7%
6	何をどのように取り組めば良いのかわからない	251	19.7%	0.8	19.0%
7	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	235	18.5%	1.6	16.9%
8	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などが無い	172	13.5%	△ 2.9	16.5%
9	行うきっかけがない	128	10.1%	△ 0.9	11.0%
10	今の生活が快適なので、変えたくない	111	8.7%	2.3	6.4%
11	その他	43	3.4%	△ 0.1	3.5%
合計		2,549			

※複数回答可 ※有効回答数(N):1,272名

### 《事業所》

障害と感じている事業所の割合が最も高かった項目は、「環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い」であった。

(障害と感じている割合が高い順)

No.	項目	回答数	割合	前年度比	前年度
1	環境にやさしい商品、製品の購入費用が高い	39	35.5%	△ 0.3	35.7%
2	手間がかかる	32	29.1%	0.5	28.6%
3	特に障害を感じることはない	28	25.5%	0.5	25.0%
4	何をどのように取り組めば良いのかわからない	25	22.7%	△ 7.6	30.4%
5	取り組みに対しての優遇措置(助成金等)が少ない	22	20.0%	△ 5.0	25.0%
6	取り組みを持続することが難しい	21	19.1%	△ 1.4	20.5%
6	取り組んだ成果が実感できない	21	19.1%	1.2	17.9%
8	行うきっかけがない	16	14.5%	△ 3.3	17.9%
9	取り組まない場合でも、負担・規制・罰則などが無い	14	12.7%	△ 2.5	15.2%
10	表彰、認証制度がない	5	4.5%	△ 3.5	8.0%
11	自社だけ取り組んでも仕方がないと思う	4	3.6%	△ 4.4	8.0%
11	その他	4	3.6%	1.0	2.7%
合計		231			

※複数回答可 ※有効回答数(N):110事業所

## 省エネルギー・再生可能エネルギー関連機器の設置・利用について

### 《市民》

割合が最も高かった項目は、「電気自動車」であった。

(「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」割合が高い順)

No.	質問事項 ( )内の数値は、「現在利用している」、「今後導入を考えたい」、「安くなれば導入したい」と回答した人の割合の合計	現在利用している	今度導入を考えたい	安くなれば導入したい	導入するつもりは	わからない	無回答	合計
1	電気自動車 (45.9%)	22 1.7%	98 7.7%	464 36.5%	324 25.5%	217 17.1%	147 11.6%	1,272 100%
2	ヒートポンプ給湯器(エコキュート) (45.6%)	301 23.7%	56 4.4%	222 17.5%	256 20.1%	285 22.4%	152 11.9%	1,272 100%
3	家庭用蓄電池 (39.5%)	42 3.3%	78 6.1%	383 30.1%	320 25.2%	289 22.7%	160 12.6%	1,272 100%
4	太陽光発電 (37.8%)	139 10.9%	55 4.3%	288 22.6%	448 35.2%	204 16.0%	138 10.8%	1,272 100%
5	再エネ100%電気 (33.9%)	53 4.2%	74 5.8%	304 23.9%	234 18.4%	440 34.6%	167 13.1%	1,272 100%
6	家庭用燃料電池(エネファーム) (29.7%)	34 2.7%	44 3.5%	299 23.5%	373 29.3%	362 28.5%	160 12.6%	1,272 100%
7	住宅のZEH化 (28.4%)	24 1.9%	45 3.5%	292 23.0%	319 25.1%	424 33.3%	168 13.2%	1,272 100%
8	家庭エコ診断 (20.0%)	13 1.0%	72 5.7%	169 13.3%	286 22.5%	547 43.0%	185 14.5%	1,272 100%
9	カーシェアリング (13.2%)	10 0.8%	50 3.9%	108 8.5%	556 43.7%	372 29.2%	176 13.8%	1,272 100%

## エコ資金について

### 《事業所のみ》

「初めて聞く名前である」と回答した事業所が最も多かった。

No.	質問事項	回答数	割合	前年度比	前年度
1	初めて聞く名前である	67	60.9%	△ 15.9	76.8%
2	名前は知っているが、具体的な内容は知らない	36	32.7%	17.5	15.2%
3	無回答	7	6.4%	1.0	5.4%
4	名前も具体的な内容も知っている	0	0.0%	△ 2.7	2.7%
合計		110			

## 脱炭素に関する技術・サービスについて

### 《事業所》

「提供者として関心がある」と回答した事業所の割合が最も高い項目は、「建築物の省エネ性能向上(ZEB化等)」であった。「利用者として関心がある」と回答した事業所の割合が高い項目は「自動車のEV/PHEV/FCVへの更新」であった。

(提供者として関心がある割合が高い順)

No.	質問事項	提供者として関心がある	利用者として関心がある	関心はない	無回答	合計
1	建築物の省エネ性能向上 (ZEB化等)	10 9.1%	52 47.3%	35 31.8%	13 11.8%	110 100%
2	ESCO事業 (省エネルギー改修にかかる経費を光熱水費の削減分で賄う事業)	7 6.4%	53 48.2%	37 33.6%	13 11.8%	110 100%
3	ICT を活用した電力・ガス等の使用量の見える化	6 5.5%	61 55.5%	29 26.4%	14 12.7%	110 100%
3	蓄電池	6 5.5%	61 55.5%	31 28.2%	12 10.9%	110 100%
5	EMS、AI、IoTによるエネルギー需要機器の最適制御	5 4.5%	43 39.1%	46 41.8%	16 14.5%	110 100%
5	ロボットやAIによる作業の自動化・効率化	5 4.5%	50 45.5%	43 39.1%	12 10.9%	110 100%
5	RE100・再エネ100%電気	5 4.5%	48 43.6%	42 38.2%	15 13.6%	110 100%
5	水素の利用 (FCV、業務・産業用燃料電池等)	5 4.5%	33 30.0%	57 51.8%	15 13.6%	110 100%
9	太陽光発電のPPA事業 (需要家の敷地等に、事業者が太陽光発電システムなどを設置し、運用・保守を行う事業)	4 3.6%	53 48.2%	40 36.4%	13 11.8%	110 100%
9	熱融通・地域熱供給 (熱源設備の集中管理を行い、効率的に熱エネルギーを製造し地域に供給するシステム)	4 3.6%	31 28.2%	61 55.5%	14 12.7%	110 100%
9	自動車のEV/PHEV/FCVへの更新	4 3.6%	69 62.7%	23 20.9%	14 12.7%	110 100%
9	CO2分離回収 (排出源の種類や濃度等に応じて、CO2を分離させ、回収する技術)	4 3.6%	39 35.5%	54 49.1%	13 11.8%	110 100%
9	CO2の原料利用 (カーボンリサイクルという考えのもと、化学品、燃料等で再利用)	4 3.6%	43 39.1%	49 44.5%	14 12.7%	110 100%
14	バイオマスボイラー	3 2.7%	33 30.0%	60 54.5%	14 12.7%	110 100%
15	水素の製造	3 2.7%	28 25.5%	65 59.1%	14 12.7%	110 100%
16	水素の貯蔵・運搬	3 2.7%	24 21.8%	69 62.7%	14 12.7%	110 100%
17	小型バイオマス発電	2 1.8%	38 34.5%	56 50.9%	14 12.7%	110 100%

# 脱炭素に関する技術・サービスの開発・提供について

## 《事業所のみ》

### 1. 建築物の省エネ性能向上

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	10	9.1%
利用者として関心がある	52	47.3%
関心はない	35	31.8%
無回答	13	11.8%
合計	110	

### 5. ロボットやAIによる作業の自動化・効率化

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	5	4.5%
利用者として関心がある	50	45.5%
関心はない	43	39.1%
無回答	12	10.9%
合計	110	

### 2. ESCO事業

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	7	6.4%
利用者として関心がある	53	48.2%
関心はない	37	33.6%
無回答	13	11.8%
合計	110	

### 6. 太陽光発電のPPA事業

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	53	48.2%
関心はない	40	36.4%
無回答	13	11.8%
合計	110	

### 3. EMS、AI、IoTによるエネルギー需要機器の最適制御

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	5	4.5%
利用者として関心がある	43	39.1%
関心はない	46	41.8%
無回答	16	14.5%
合計	110	

### 7. RE100・再エネ100%電気

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	5	4.5%
利用者として関心がある	48	43.6%
関心はない	42	38.2%
無回答	15	13.6%
合計	110	

### 4. ICTを活用した電力・ガス等の使用量の見える化

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	6	5.5%
利用者として関心がある	61	55.5%
関心はない	29	26.4%
無回答	14	12.7%
合計	110	

### 8. バイオマスボイラー

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	33	30.0%
関心はない	60	54.5%
無回答	14	12.7%
合計	110	

### 9. 小型バイオマス発電

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	2	1.8%
利用者として関心がある	38	34.5%
関心はない	56	50.9%
無回答	14	12.7%
合計	110	

### 10. 水素の製造

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	28	25.5%
関心はない	65	59.1%
無回答	14	12.7%
合計	110	

### 11. 水素の貯蔵・運搬

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	3	2.7%
利用者として関心がある	24	21.8%
関心はない	69	62.7%
無回答	14	12.7%
合計	110	

### 12. 水素の利用

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	5	4.5%
利用者として関心がある	33	30.0%
関心はない	57	51.8%
無回答	15	13.6%
合計	110	

### 13. 熱融通・地域熱供給

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	31	28.2%
関心はない	61	55.5%
無回答	14	12.7%
合計	110	

### 14. 蓄電池

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	6	5.5%
利用者として関心がある	61	55.5%
関心はない	31	28.2%
無回答	12	10.9%
合計	110	

### 15. 自動車のEV/PHEV/FCVへの更新

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	69	62.7%
関心はない	23	20.9%
無回答	14	12.7%
合計	110	

### 16. CO2分離回収

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	39	35.5%
関心はない	54	49.1%
無回答	13	11.8%
合計	110	

### 17. CO2の原料利用

項目	回答数	割合
提供者として関心がある	4	3.6%
利用者として関心がある	43	39.1%
関心はない	49	44.5%
無回答	14	12.7%
合計	110	

## 「食品ロス」について

### 《市民のみ》

■ 日本の「食品ロス」の状況について、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	1,015	79.8%
知らなかった	164	12.9%
無回答	93	7.3%
合計	1,272	

■ これまでに、食品を食べることができずに、捨てたことはありますか。

項目	回答数	割合
捨てたことがある	990	77.8%
捨てたことはない	190	14.9%
無回答	92	7.2%
合計	1,272	

■ 「捨てたことがある」と答えた方において、捨てた理由

項目	回答数	割合
食品の鮮度が落ちたり、腐ったり、カビが生えたから	774	78.2%
食品の消費期限・賞味期限を過ぎたから	548	55.4%
食品の色やにおいなどで、不安を感じたから	485	49.0%
食品が中途半端に余ったから	167	16.9%
その他	25	2.5%
合計	1,999	

※複数回答可 ※有効回答数(N):990名

■ 食品ロスをなくす取り組みをしているか

項目	回答数	割合
いつも行っている	463	36.4%
時々行っている	558	43.9%
行っているが、今後取り組んでみたい	103	8.1%
行っていないし、今後も取り組みたいと思わない	9	0.7%
その他	8	0.6%
無回答	131	10.3%
合計	1,272	

## 「古紙類の資源化」について

### 《市民のみ》

■ 臭いや汚れのついた紙、加工された紙は「燃やせるごみ」になることを、知っていたか。

項目	回答数	割合
知っていた	1,187	93.3%
知らなかった	43	3.4%
無回答	42	3.3%
合計	1,272	

■ 資源になる「古紙類」を燃やせるごみに出したことがあるか。

項目	回答数	割合
ある	531	41.7%
ない	693	54.5%
無回答	48	3.8%
合計	1,272	

■ 「古紙類」を燃やせるごみに出したことが「ある」と回答した方において、どのような古紙を燃やせるごみに出したか。

項目	回答数	割合
新聞	85	16.0%
雑誌(週刊誌、漫画、カタログなど)	144	27.1%
飲料用紙パック(牛乳パックなど)	274	51.6%
雑古紙(空き箱、封筒、メモ用紙、包装紙など)	401	75.5%
段ボール	96	18.1%
合計	1,000	

※複数回答可 ※有効回答数(N):531名

■ 古紙を燃やせるごみに出した理由

項目	回答数	割合
分別がわずらわしい	169	31.8%
資源物収集の日まで待てない	159	29.9%
置いておく場所がない	128	24.1%
資源として再生できると思っていない	42	7.9%
資源として再生する必要がないと思っている	12	2.3%
資源物として分別するべきことを知らなかった	58	10.9%
何が「資源になる古紙類」に該当するか分からない	81	15.3%
その他	110	20.7%
合計	759	

※複数回答可 ※有効回答数(N):531名